

## カミチクグループ

〒891-0141 鹿児島市谷山中央1-4389



## 事業内容

カミチクグループは、牛の飼料製造から繁殖・肥育、酪農の1次産業、牛肉の生産から加工・企画開発・商品化の2次産業、販売・外食での消費者への提供の3次産業をグループで一貫して行なっており、**グループ全体で安全・安心な付加価値のある良質な肉を消費者に届ける6次化スタイルを進めています。**また、日本で作られた牛肉の輸出や飲食店の展開を、現地で事業展開できる仕組みとして作り上げ、海外にフィールドを広げています。**「日本の農業を強く、優しく、かっこよく」という理念のもと、世界中の人に生産者の想いと美味しさをつなぎ、喜びと元気を提供しています。**

## 「これまで」と「これから」

## 40年かけてつくりあげた、カミチクグループの6次化スタイル。

## ● これからの日本を考える～SDGs～

カミチクグループではどのようなSDGsに取り組んでいるのかを伺いました。1つ目は休閑地の利用です。後継者不足などで農業などをしなくなった荒れた土地を有効活用し、そこで牛の飼料を作って土地を復活させることで、農家さんの無理のない働き方などに取り組んでいます。2つ目は廃棄されるものの有効活用です。例えば、地域の量販店から出るパイナップルの皮やヘタ、酒造メーカーから出る焼酎かす・ビールかすなど、牛の飼料にすることができるものが多くあるそうです。普段は廃棄物としてお金を払って処理されるものを、カミチクグループが飼料用として購入することにより、農家さんの農業の継続や、廃棄となる野菜が再利用され廃棄ロスにつながり、両方が嬉しい再生の仕方をされていました。**エコを通して地域と繋がる**ことができ、両者が嬉しいことだと感じました。

## ● 驚きのビジネスモデル

牛の餌となる飼料の生産という1次産業～実際の消費者に料理として提供する外食産業まで、幅広い産業に携わっているカミチクグループ。**【1次産業×2次産業×3次産業=6次化】**を一貫して行うことで、牛の生産に掛かるコストを管理し、生産農家さんの経営を安定させることができるとともに、自分たちの生産したものが消費者にどのように受け入れられ、喜ばれているかを間近に見ることができる喜びも感じられるそうです。

飼料の生産から一貫して行うことにより、衛生面も気にする必要がないくらい、**安心して食べられる独自のシステムを構築**しているのだと学びました。このビジネスモデルは現在、国を越えてたくさんの視察が来ているようで、政府系の機関からの視察も受け入れているとのことでした。**カミチクグループならではのビジネスモデルが強み**だと感じました。



● とても美味しそうなお肉。残念ながら、食べられませんでしたが(笑)



● カミチクグループが誇る6次化スタイルを表現したサインが印象的でした。



● 成長の軌跡、そして強さの秘密が綴られているフィロソフィ。



## 知 られざるストーリー～家族の絆～

農業の6次化ですが、実は60年くらい前から既に構想があったそうです。その構想というのも、社長のお父さんがいつも語っていたことだそうです。社長は3人兄弟の真ん中でお兄さんと弟さんがいるとのこと。お父さんは常々、長男が南九州市で一番の農家になり、次男は育てた牛に付加価値を付けて市場に出す卸売会社を設立し、三男はその手助けをしていくという話をされていたそうです。実際に兄弟3人がその教えを現実のものにして、会社や市場を大きく成長させているということでした。

その結果現在では、市場が拡大していき、加工業・外食産業の分野も開拓していき、6次化に辿り着いたというストーリーがあるそうです。そんな口マンあふれる逸話を知ったうえで改めてお肉を食べると1度で2度美味しく感じられるのではないのでしょうか。

## 鹿 児島から世界へ

カミチクグループは日本の和牛の魅力伝え、市場拡大にも注力されています。素晴らしい製品を世界に送り出すことはもちろん、現地に生産拠点を作ることで、海外にも幅広く展開されています。自分たちの生産・加工・販売の技術を日本だけでなく、海外にある会社にも活用しているそうです。ただ日本の技術をそのまま持っていけばうまくいくというわけではないようで、その地域にあったやり方を模索しながら作り上げているとのこと。

また、人の採用についても、外国人雇用や実習生の受け入れを積極的に行うことで、海外に対して、生産拠点を作るだけでなく、その地域にいる人を雇い、人財開発などに励んでいます。地域に合った雇用、環境を踏まえた生産体制を作るというお話がとても印象的でした。

## 選 ばれる訳～カミチクフィロソフィ～

事業以外で驚いたのは社員のみなさんが、社長の考えや会社が進むべき道を本当に理解されているということでした。カミチクグループには、理念などが書かれたフィロソ

フィという冊子があり、入社した社員に配られ、毎朝の朝礼や研修で用いられているそうです。このフィロソフィは社長が常々言っていることや、会社として大事にしたいことを、スタッフがチームを作って冊子にまとめたそうです。この冊子をみんなで常に持つておくことで、大切にしていることなどを共有できているということでした。

フィロソフィにも書かれている内容としては、「日本の農業を強く、優しく、かっこよくする」ことが根底にあると同時に、生産者として、美味しい牛肉をお届けしたいという想いも込められているそうです。その情熱を「6次化スタイル」として形にすることで、世界に誇れる日本の農業になるために、そして若い人たちが憧れるような仕事にするために努めているとのこと。そんなカミチクグループの製品だからこそ、お客様にも選ばれるのだと感じました。

### 〈担当から学生へのコメント〉

学生生活は貴重な時間なので、今のうちに海外旅行や国内旅行、目標達成してみるなどしてみてください。そして、その経験を就職活動に役立ててください。

その先にカミチクホールディングスがあればうれしく思います。

人事部人財支援課 鮫島 祐



## ～ 取材後の感想 ～



鹿児島国際大学  
ありむら

普段お目にかかれない、お肉が食卓に並ぶまでの一過程を垣間見ることができました。非常に魅力あるお仕事だと感じました。



鹿児島国際大学  
たかはる

カミチクグループは先代から自分たちが肥料から販売までをする6次産業をすることが大切とおっしゃっていましたが、それだけでなく地域はもちろん、世界にも視野を広げている会社だということが、とても印象深かったです。